



## 新たなる門出！ 障がい者支援施設 石川学院



4月より、7名の女性利用者の皆さんが、社会的自立に向けてグループホームに移行します。そこで、今年度最後の行事として、利用者親睦会/女性利用者激励会を企画しました。会では、スライドショーを観ながら、約22年間の石川学院の歩みや楽しかった出来事を振り返ることができました。女性利用者の皆さんには、きっと、明日から始まる新生活に胸をワクワクさせながらも、どこか寂しいような複雑な心境で観ていた事でしょう。

会終盤には、石川五大さんから歌のサプライズがあり、我如古勉さんより「がんばってください。」と、女性利用者一人ひとりに激励の言葉を掛けキャンディレイと花束をプレゼントし最後に、ホールで記念撮影！

（生活支援主任：新城 仁美）

## 令和3年度 新年度あいさつ



令和3年度がスタートしました。日頃より関係者の皆様には、当法人起産石川の事業にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。当法人では、利用者の命を守る事を最優先事項とし、「持ち込まない・持ち出さない・拡げない」をスローガンに掲げ、マニュアルを整備し、職員への周知徹底、利用者・保護者の皆様のご理解、ご協力を頂き、感染者を出すことなく各事業を運営してきました。今年度も、最優先事項として感染予防に取組んでいきたいと思います。

このような中、昨年度重点目標に掲げていたグループホームを、4月1日に開所し入所の女性利用者さんが移行しました。これまで順次、移行計画を実施し、今回で全女性利用者さんが地域生活等への移行となりました。

また、令和3年4月から障害福祉サービス等報酬の改正が行われ、内容を踏まえたうえで、重点目標の一つとして、法人理念を継承していく幹部職員の育成を進め、職員定着・モチベーションアップにむけた人事評価システム作りに着手していきます。

今年度も、福祉サービスの供給体制の整備及び充実、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等が継続発揮できる経営・運営基盤を構築していくために、役職員一丸となって障害福祉事業に取り組み、社会福祉法人としての責務と使命を担っていく所存です。

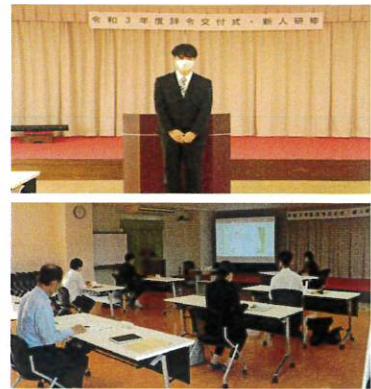
引き続き、関係者の皆様にはご協力とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



令和3年 4月 1日  
社会福祉法人 起産石川  
理事長 太直美

<20周年記念式典や落成祝いに頂いた欄の花が、仲西次長の丹精込めた手入れで満開になり、出勤時にEVのドアの前に並んだ欄の花たちが出迎えてくれて、お世話になった方々に感謝の心を忘れないでねと語りかけているようです…>

# 令和3年度 辞令交付式・新人研修



## 就労支援事業所こみこみ・居住支援事業所 花かご 新管理者よりご挨拶



謹啓 陽春の候 関係各位の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
日頃から当事業所の運営に関わりましては、格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。

このたび令和3年4月1日付けをもちまして社会福祉法人 起産石川 就労支援事業所「こみこみ」の管理者及び居住支援事業所「花かご」のサービス管理責任者を拝命いたしました。私にとっては身に余る重責ですが、皆様方のご協力をいただきながら全力を尽くして利用者支援に精進してまいりますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

事業所運営につきましては、これまでの方針を継承しつつ、利用者の日常生活の安心、安全を確保しながら、生活の質の向上に努め、楽しい生活を提供する体制を一丸となって実施してまいりたいと考えております。また、終息の兆候が見られない新型コロナウイルス感染症対策につきましては、社会情勢を踏まえ利用者、職員の安全を第一に考えた対応に努めてまいります。

終わりに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ略儀ながら就任の挨拶とさせていただきます。

謹白

## 生活介護センター石川学院・児童デイサービス石川学院 新管理者よりご挨拶



拝啓 新型コロナウイルス禍で不安とストレスの絶えない日々が続いていることとお察しいたしますが、保護者並びにご家族の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私こと この度、4月1日付けで生活介護センター並びに児童デイサービスの管理者に就任いたしました。ここに謹んでご報告申し上げます。はなはだ微力ではございますが、この大任をお受け致しました上は、一意専心、両サービス事業及び法人の発展に全力を尽くす所存でございます。

何とぞ、前任者同様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。  
まずは略儀ながら書中をもってご挨拶申し上げます。

管理者 玉城浩二

敬具



国家試験合格  
おめでとうございます！



\*社会福祉士：3名 \*介護福祉士：5名



## お誕生日会 児童デイサービス 石川学院



まちに待ったお誕生日会！今月は、初の試みでケーキの代わりにミスタードーナツを用意しました。一人ひとり事前に決めたドーナツを手に取り、コップを掲げて乾杯。誕生日ソングを歌って会はスタート(^o^)♪

みんなからのメッセージ入りのプレゼントを渡し、美味しいドーナツを頬張り、会話を楽しみながら時間はあつという間に過ぎて行きます。ドーナツを食べ終わった利用者からは「美味しかった、もっと食べたい」との声が聞かれ、誕生会では初めてのドーナツでしたが、利用者が喜んでくれて良かったです！ 🍩🍩🍩 (指導員:仲宗根 敬)

## 3月の行事

### 生活介護センター 石川学院



3月は、4つの行事を行いました。ひな祭り会では、楽しく歌を歌い皆で記念撮影。ドライブは、「石川浄水場」へ。出発前から雲行きが怪しかった為、おやつはセンターホールで食べる事になりました。久しぶりの外出を楽しみにしていたので屋外で食せなかつたは残念でしたが、ハンバーガーを嬉しそうに頬張る姿を見て、ちょっと安心しました。調理実習では、一口サイズの「ミニミニちらし寿司」を美味しく頂きました。年度末会では、1年間の振り返りを行い、おやつのアイスクリームを笑顔で口いっぱい頬張りました。3月は、美味しいものを食べて、沢山の笑顔が溢れる月になりました。



(生活支援員:増田 すみれ)

## ドライブ～(^^)

### 居住支援事業所 花かご 心きのとうホーム



新型コロナウイルス蔓延により、ホームで過ごすお家時間が増えました。そんな中、感染防止対策に努めながら、新しいホーム車両(セレナハイウェイスター)に乗って、恩納村北谷町、沖縄市方面をドライブしました。久しぶりのドライブにテンションが上がり、「セレナ乗りごこちいいなー」と快適なドライブを楽しみました。途中北谷ビーチで休憩を取り、気持ちのいい真っ青な海と青空の下、笑顔で記念写真を撮りました。

(世話人:平良 妥恵)

## 今年度もお疲れ様でした

### 就労支援事業所 こみこみ



玉城管理者  
ありがとうございました!!

今年度はコロナウイルスの影響で、様々な事が思うように行えなかった我慢の1年になったと思います。その中でも感染予防に努めながら、色々な行事を企画して楽しく過ごしてきました。1年を振り返りながら「お疲れさまでした！」と「次年度に向けて頑張ろう！」の意味を込めて、みんなで乾杯☆そして一人ひとり次年度に向けて「就職できるように頑張る」「自分の気持ちを伝えられるようにしたい」「パンをたくさん作れるようになりたい」等、素敵な目標を発表しました。また、こみこみの管理者としてみんなを見守ってくれていた玉城管理者が今年度で異動になり、お別れとなりました。寂しくて涙を流す利用者やお互い頑張りましょうと応援する利用者も…。最後は、みんなで作った色紙をプレゼントし感謝の気持ちを伝えました。

(生活支援員:宮平 琴乃)



社会福祉法人 起産石川

〒904-1101

うるま市石川東山本町1-20-1

障がい者支援施設石川学院

児童デイサービス石川学院

Tel:098-964-2286 Fax:098-965-6004

生活介護センター石川学院

Tel:098-964-2239 Fax:098-965-6004

〒904-1101

うるま市石川東山本町2-12-15

就労支援事業所 こみこみ

(就労移行支援・就労継続支援B型)

Tel:098-963-0073 Fax:098-963-0074

作業棟(石川学院敷地内)

Tel:098-963-0305 Fax:098-963-0306

ハピメロ(うるま市役所東棟1階)

居住支援事業所 花かご

ふきのとうホーム・のぼたんホーム

居住支援事業所 風

かぐや姫ホーム・ちゅうりつぱホーム

居住支援事業所 きさん

ぽこ・あ・ぽこホーム

〒904-1101

うるま市石川東山本町2-12-15

相談支援センター石川学院

※強度行動障害支援者養成研修修了の

相談支援専門員を配置しています。

Tel:098-964-2445 Fax:098-964-2446

〒904-1101

うるま市石川東山本町1-20-2

ロジャーズ館 3F

社会福祉法人 起産石川 事務局

Tel:098-964-2286 Fax:098-964-5055

〒904-1106

うるま市石川2-2-1 108号



地域活動支援センターミほそ

Tel:098-989-8146 Fax:098-989-8147

Mail: mihoso@otc.ne.jp

発行日:令和3年4月15日発行

発行責任者:理 事 長 太 直美

編集担当者:事務局 富名腰 和美

☆今年度より担当させて頂く事になりました。

富名腰です。よろしくお願ひします。

<https://kisanishikawa.jp/>



## 職員インタビューNo.61

とぐち よしたか

生活介護センター石川学院 生活支援員 渡口 良貴

### Q1:入職の経緯と仕事の魅力を教えてください

専門学校の在学中、実習で石川学院にお世話になり、その際様々な事を学び、福祉の分野に興味を持ち入職しました。利用者さんから学ぶ事や元気をもらう事があり、利用者さんと共に成長していく事ができ、魅力的です。



### Q2:モットーは?:「初心を忘れず」です。

Q3: 利用者さんとの思い出は?: 外出の時に利用者さんが楽しそうな表情をしていて、外出後に「また、行きたいさあ」「楽しかった」と話してくれた事が嬉しく、とても良い思い出です。

### Q4:今後の目標は?: 利用者さんと一緒に「物作り」に挑戦してみたいです。

## コロナに負けずにメロリーノOPEN!!

パン工房メロリーノ



緊急事態宣言が解除され、久しぶりのメロリーノOPEN!! 出勤時間の早いホームメンバーを中心に、陳列棚や商品かご等、入念に除菌し開店準備! 感染防止対策をしっかりと行い営業しました。しかし、残念ながらコロナ感染者の急増に伴い、再度営業を自粛させていただいております。現在は、利用者の技術向上、新商品の開発、見直し等に力を入れながら、注文分のみの製造を行っております。

前年度お世話になった方々、新年度お世話になる方々への手土産にメロリーノのパンやマフィン、スコーンはいかがでしょうか♪

営業再開後には、美味しいパンをそろえて、利用者・職員一同お待ちしております(^\_^♪

(生活支援員:與儀 希恵)



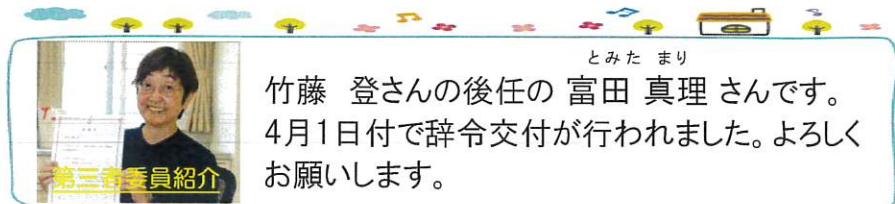
## 令和2年度 第三者委員会議

去った、3月9日、令和2年度の第三者委員会議を開催しました。会議の中で第三者委員の方から「コロナ禍の中、利用者が置き去りにならぬよう、利用者との会話を通し、安心感を持って生活出来るよう支援を継続して欲しい」とのご意見を頂き、面談を担当した職員からは「コロナ禍で窮屈な思いをされている利用者にとって、第三者委員との面談の時間はとても良い時間だったと思う。また、アドバイスをもらうなかで支援に自信を持つことが出来た」との意見が出ました。



令和2年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策をしっかりと行い、縮小しながら面談の機会を設けましたが、コロナ禍で大変な今だからこそ感染防止対策を徹底しながら、次年度も外部とのつながりを絶やすぬよう第三者委員の方に足を運んで頂きたいと思いました。

(苦情受付担当者:屋良 朝洋)



竹藤 登さんの後任の 富田 真理 さんです。  
4月1日付で辞令交付が行われました。よろしく  
お願いします。